

療育支援専門部会 報告資料

本年度開催 第1回 平成27年7月17日
第2回 平成27年11月4日
第3回 平成28年1月20日

平成27年度療育支援部会活動概要

1 主な審議事項

(1) 千葉県障害児等療育支援事業の見直しについて

当該事業の事業者数の増加に伴い事業費が増加傾向にあることから、予算規模に見合った事業が実施できるよう委託単価、利用回数等についての見直しを協議した。

(2) 療育手帳判定書の開示請求に係る取扱いについて

旭市自立支援協議会長から、別添資料のとおり千葉県総合支援協議会長あてに要望書が提出され、対応について協議した。

2 主な報告事項

(1) ライフサポートファイルの活用について

障害のある子どもが、ライフステージにおいて一貫した支援が継続されるための情報伝達ツールとして、本人に関する様々な情報や支援記録等を一冊にまとめたファイルの導入、活用を促進している。

現在、導入済み市町村は35、今後導入を検討中の市町村は6となっており、拡大が図られている。

(2) 特別支援教育について

特別支援教育に関する個別教育の支援計画の作成について、幼稚園と学校間の連携、さらに地域の連携を視野に入れて進めていくことが必要。

教員研修については、特別支援教育コーディネーターも含めて地域の中でサポートする体制をとっていかなければならない。

(3) 児童発達支援について

①「放課後等デイサービスガイドライン」の活用について

- ・平成27年4月、厚生労働省からガイドラインが示され、県から各事業所に配付し、活用についての周知を図った。
- ・ガイドラインの特徴は、
 - 1 指定基準遵守に係る具体的な方法を提案
 - 2 支援提供技術についての助言
 - 3 事業所における自己評価に活用

②指定児童発達支援の運営に係る基準改正等について

- ・児童発達支援センターが相談に応じて助言等の援助に努める対象が拡大され、従来からの家庭に加え、学校等（保育所、幼稚園、小学校等）が加えられた。